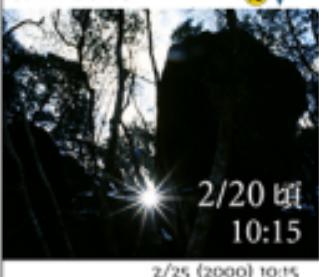


# 東の山巨石群 冬の観測

## 山から昇る太陽

冬の始まりと終わりのとき  
山から昇る太陽は、  
S石の表面が示す線上から  
昇ってきます。



冬の終わりは  
再び光が入り始める頃

2/20日 120° 10/23日

冬至 12/22

14

冬の始まりは  
光が入らなくなる頃

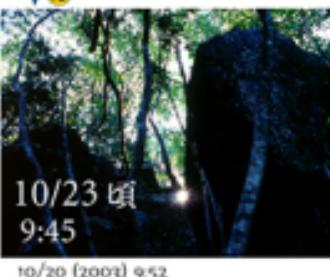
13

山から昇る  
太陽の光

冬至 約60日前と60日後

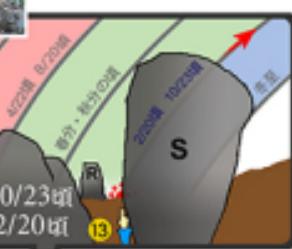
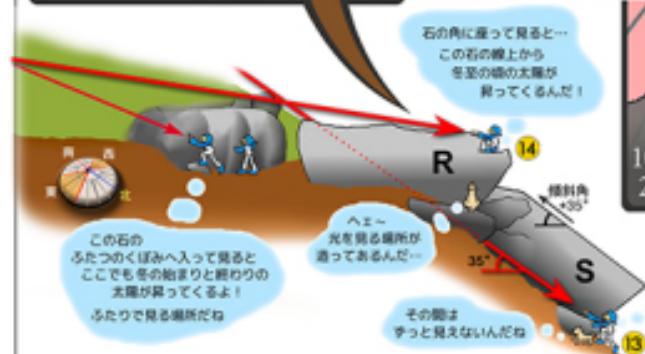
S 冬至の頃 R

0 30m



冬至の頃の  
山から昇る太陽は  
長さ9mのR石の線上から  
昇ってきます。

8:45



こっちは  
冬の始まりと終わりの時だけ  
太陽が昇ってくるよ！

# 岩屋岩蔵遺跡巨石群 冬の観測

この巨石群は主に3つの巨大な石E・F・Gで形成され、それぞれ南の空に向かって大きく開かれた形状で山の斜面に座っています。冬の始まりと終わりになると、朝はE石の側面から、晩はF石から、夕方はG石から太陽光が射し込みます。つまり冬の期間は日中を通して巨石群内を明るく照らし出すしくみになっています。

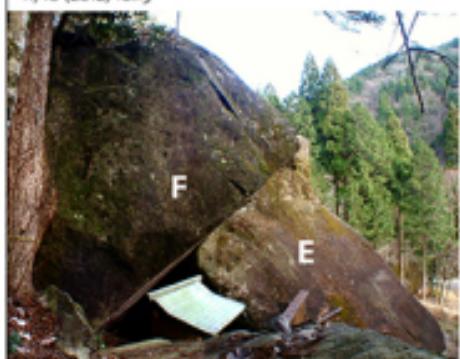
## 岩屋岩蔵遺跡巨石群



F石の傾斜面に光が当たっているのは冬の約120日間だけ

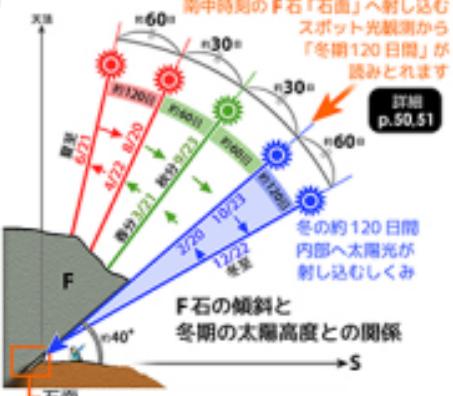


11/10 (2012) 10:13



西側から見たF石 (平面の高さ約10メートル/傾斜角約40度)

巨石群内部から見たところ (詳細右ページ) →





森は空を覆う石の傾斜面から！



つまり  
3つの石の平面はそれぞれが  
冬の始まりと終わりを知らせる時間の  
前・基・後の  
太陽に向かって  
座っている  
ってことか…

冬の間、光が明るく  
射し込むように  
造られたんだね！



G石 山へ沈む太陽

夕方はこっちの石の面から射し込むんだよ！



16:00～16:30

## 山へ沈む太陽

(冬の観測)



冬の終わりは  
巨石陣へ太陽光が  
入らなくなる頃

2/20頃 120 10/23頃

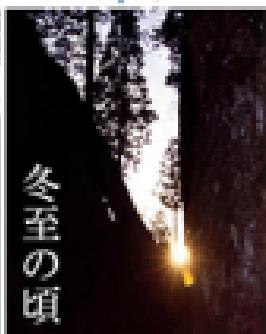
冬至の頃

冬の始まりは  
巨石陣へ太陽光が  
入り始める頃



2/20頃

2/20 (2003) 16:30

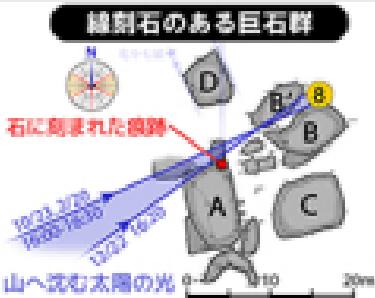


12/22 (2004) 16:20



10/23頃

10/23 (1999) 16:00

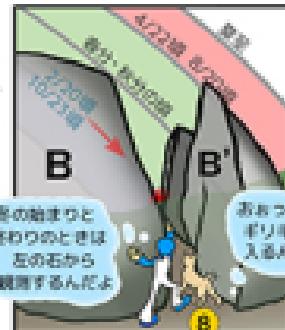


山へ沈む太陽の光



1/16 (2013) 16:19

冬の120日間  
山へ沈む太陽は、  
BとB'石の間に  
沈みます。



10/23頃  
2/20頃

